

## 伊東市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和6年3月26日（火曜日）  
午後2時30分～午後4時20分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室
- 3 出席者 教育長 高橋 雄幸 委員 村上 惠宏  
委員 遠山 泰範 委員 辻 恵
- 4 参 与 教育部長 浜野 義則 次長兼教育総務課長 杉山 宏生  
教育指導課長 関野 耕一 幼児教育課長 鈴木 慎一  
生涯学習課長 山下 匡弘
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 二宮 悠 主事 松岡 翔太
- 6 会議の経過

**高橋教育長**：ただ今から伊東市教育委員会3月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

（事務局から出欠報告及び資料確認）

**高橋教育長**：それでは議事に入る。始めに、会議の非公開について諮りたい。本日の日程のうち、教議第14号「県費負担教職員人事に関する内申について」は、伊東市教育委員会会議規則第9条により秘密会としたいと思う。賛成の委員は挙手を願う。

（挙手全員）

**高橋教育長**：それでは、教議第14号については秘密会とすることを決定し、全案件終了後に教育長室で審議を行う。

**高橋教育長**：次に、令和5年11月定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

**委員**：語尾の調子は整えたい。

**高橋教育長**：議事録は調子を整え承認ということによろしいか。

(意見なし)

**高橋教育長**：承認が得られたので、令和5年11月の定例会会議録は原案どおり決定する。それでは、議題に入る。まず、教育長報告を行う。3月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

2月28日 伊東市社会教育委員会

29日 市議会本会議（大綱質疑）

3月 1日 県立伊豆伊東高校定時制卒業式

4日 市議会本会議（大綱質疑）、能登半島地震派遣職員報告会

5日 市議会本会議（一般質問）

6日 市議会本会議（一般質問）

7日 市議会本会議（一般質問、議案審議）、校長会

8日 市立幼稚園、保育園人事異動案説明

11日 市議会福祉文教委員会

13日 東部社会教育振興協議会理事会、静岡県教育事業団体来庁

14日 校長会（人事異動案内示）、本の寄贈（短歌・俳句集）

15日 東部特別支援学校伊東分校卒業式、静東教育事務所参事来庁

18日 教育出版社来庁

19日 北中学校卒業式出席、伊東市子ども子育て会議

20日 教育講演会（元Jリーガー村田和哉氏）

21日 市議会本会議（最終日）、伊東市防災会議

22日 旧見番手習いの会発表会、伊東市職員内示

25日 政策会議、教職員組合東豆支部長来庁、伊東ガス社長来庁

26日 教育委員会定例会、県学校給食会理事長来庁

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：次に、各委員からの報告をお願いします。

**委員**：南中学校と伊東小学校の卒業式に行かせていただいた。南中学校では、生徒の人数も多いが、落ち着いた厳かな感じのとても良い卒業式だった。少し欠席の方が何人かいたのが気になったが、全体を通してすごく良い雰囲気での卒業式であった。伊東小学校の方は、伊東小として初めての卒業式になりますが、子どもたちが一生懸命取り組んでいる姿、そして最後に歌がありましたけど、その歌声が素晴らしかった。みんなとてもよく声が出ていて、何かこの歌の歌詞もそうでしたけどいろんなことを考えさせられながら、こちらもとても良い卒業式だったと思った。

**委員**：私は門野中学校と南小学校の卒業式に出席させていただいた。門野中学校は、66人の卒業生で、子どもの数が少なくなったなという印象を受けた。最後の合唱の時ですが、少ない人数ながらも、コロナ禍でいろんなものがまだ制限されている中、小学校から過ごしてきた子ども達なので、色々な思いがあったのかなと、歌いながら涙を流す女子生徒が何名かいたことが、すごく印象的であった。南小学校は92名の卒業生で、数名がインフルエンザで欠席であったが、天気も午後から良くなり、とても厳かでスムーズに進行できた点良かったと思う。女子児童で袴を着る子が多いが、時間とともに着崩れしたり、階段でつまずいたりしていたので、しっかりと着れていればもっと良かったと感じた。

**委員**：私は宇佐美中学校と大池小学校に出席し、本当にとってもいい感じの卒業式だったと感じた。宇佐美中学校の方は1人だけ欠席であったが、校長室に最初集まったときに、高校入学の話になり、伊豆伊東高校が新しくできたのに、

通学に関して伊豆急行が結構金額高いので、沼津や三島の方が通学費が安くなるため、そちらに流れるケースがあるんですよね、と言っていたのが少し気になって、2クラスだが韮山に7人行ってたりとか、沼津東とかにも行っている子もいて優秀だなんて思いながら、そっち方面に逆に行ってしまう流れが少し気になった。それから、大池小学校は、欠席の3、4人くらいだったかもしれないんですけど、ちょうど目の前の男の子が体調を崩してるような感じで、先生が気づいて無理しないでいいよと寄っていただいて、なんか戻そうと思ったのかビニール袋みたいなのも横に置いて、無理しないでって声掛けされ一生懸命やってたんですけど、最後は前に出て歌を歌うところがあったんですけど、結局最後までね、頑張っただけだったので、最後までちゃんとできてよかったなあっていうか、頑張ったなっていうそんな感じで見ていた。

**高橋教育長**：自分の方から、適応指導教室「なぎさ」に行っている子ども達、中学3年生の子ども達ですけれども、全員の進学先が決まりまして、よかったと思う。

卒業式は、学校の方でもやり、適応指導教室だけでも卒業式みたいな形でやったようなので、子どもたちが自分の行けるような高校に行ってよかったと思った。

**高橋教育長**：次に、議題に入る。始めに議決事項、教議第15号「伊東市学校給食センターにおける学校給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について」を議題とする。

(杉山次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：今回、公費で増額分を賄うとしているが、年間どれぐらい変わってくるのか。

**杉山次長兼教育総務課長**：子どもたちの給食費に、物価高騰対策費だけで約1,000万円程度補助することになっている。それとは別に地産地消推進事業で、やはり約1,000万円弱ぐらいを補助していますので、合わせますと全部でそこだけで約2,000万円程度の補助を既にしているということで、それぐらい補助しないと、給食自体は運用できない状態になっている。

**高橋教育長**：それでは、この件について確認する。教議第15号「伊東市学校給食センターにおける学校給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

**高橋教育長**：委員の皆様から承認が得られたので、教議第15号については原案どおり決定した。次に、教議第16号「令和6年度学校運営協議会委員推薦書について」を議題とする。

(**関野教育指導課長**から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：それでは、この件について確認する。教議第16号「令和6年度学校運営協議会委員推薦書について」は、原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

**高橋教育長**：委員の皆様から承認が得られたので、教議第16号「令和6年度学校運営協議会委員推薦書について」は原案どおり決定した。次に、教議第17号「伊東市立幼稚園における給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について」を議題とする。

(**鈴木幼児教育課長**から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：それでは、この件について確認する。教議第17号「伊東市立幼稚園における給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

**高橋教育長**：委員の皆様から承認が得られたので、教議第17号「伊東市立幼稚園における給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について」は原案どおり決定した。以上で議決事項を終了する。次に、報告事項に入る。教報第23号「伊東市立幼稚園の貸し出しについて」を議題とする。

(鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：鎌田幼稚園は、今は何も使われていないのか。

**鈴木幼児教育課長**：鎌田幼稚園については、令和5年度の6月まで清掃事務所として使用されていたが、現在は、貸し出ししていない状況である。

**委員**：この先何か活用案はあるか。

**鈴木幼児教育課長**：休園中の幼稚園の施設をはじめとする様々な市の施設の有効活用は、3月議会の一般質問等でも質問があった。教育長答弁の引用になるが、現在、幼児教育課で管理をしている幼稚園施設等は、休園中ということであくまで教育財産としての管理になっている。この状況で目的外使用として先ほどご報告したとおりの使用を認めており、現状ではどこにも貸し出しをしていない鎌田幼稚園も含めて、幼稚園としてなかなか再開の見込みが立っていない中で、今後、こども園というものを設置する敷地そういう場所の候補地として検討していく、これから幼稚園保育園の再編とあわせてこども園化を進めていくという基本方針のもと、その設置場所の候補地の一つとして、引き続き

検討していくこととなり、設置をする可能性がなかなか難しいような場合は、この教育財産から用途を廃止して、一般の貸し出し等を検討していく、そのような答弁をしたところである。

**高橋教育長**：幼稚園については教育財産として管理していることから、責任をもって管理しているが、今後の認定こども園の候補地とする中で、教育財産として管理する目的が無くなる見通しが出た時は、財産処分することも考え方の一つだと思う。私も施設を見回ったりする中で、ガラスが割れてないかなど不審者について気にすることがある。

**委員**：それぞれ状況が違うと思うが、それなりに建物が建っていて、耐震のこととか、色々なメンテナンスが必要なのかどうかも含めてだが、売るとかになったら、やっぱり更地にして、あの建物をそのままってことはまず考えられない。そうするとかなりコストがかかってくることと思われるが、そういうことまでも考えているのであろうか。建物を1回解体するとか。そこまではまだ全然検討されていないのであろうか。

**鈴木幼児教育課長**：あくまで教育財産としての活用、そしてまたこども園としての利活用という点でいうと、幼児教育として、使い道を考えているところもあるが、委員が言われるような教育以外の別の活用については、令和5年4月からできた市役所内の別の部署が、できたばかりというところもあるが、今管理しているところと、また別の活用の方法を模索しているところであり、どちらかというとならうと売ったらどうなるか、その辺の処理はそのような資産を活用していくようなところが専門的にやっていった方が良く、教育の部署がやっていくには、なかなか限界があるかなというところである。

**高橋教育長**：次に教報第24号「令和6年度小・中学校職員（市職員）及び幼稚園・保育園職員の人事異動について」を議題とする。

(杉山次長兼教育総務課長、鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：次に教報第25号「令和6年度小・中学校教職員の人事異動について」を議題とする。

(関野教育指導課長から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：次に、その他報告で「市議会3月定例会の報告について」を議題とする。

(浜野教育部長から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：以前、不登校支援員を3人ほど配置するという話があったが、村上議員の質問で教育指導課の方から不登校支援員を中学校に配置すると言われたが、5中学ある中で、3人は特定の学校に固定なのか、それともこの3人が各学校を巡回するのか。

**関野教育指導課長**：南中学校は別室登校に関係するところが多いので、そこに1人常駐する。それと門野中学校と対島中学校で1人、宇佐美中学校と北中学校に1人ということで兼務として配置して、また最初はそのような形だが慣れてきたら、適応指導教室なぎさとも連携を図りながら、こういった行き来ができるような形が理想かと考えている。

**高橋教育長**：今回、特別教室の空調設備が予算化でき、本当にありがたいと思う。子どもたちの安全とか健康とか考えたときに、予算をつけていただくのは非常に大きいと思う。完了まで時間がかかるが、必ず設置するために進んでい

るので、了承いただきたい。

**高橋教育長**：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

**杉山次長兼教育総務課長**：1点報告する。来年度の学校施設の環境整備については、特別教室の空調設置のほかに南中学校のトイレ洋式化事業、そして、LED化事業を順次進め、数年後にほぼ全ての学校で対応しているようにしたいと思っている。そのほかにも、かねてから学校の方から要望がある時間外の留守番電話についても対応していく。

**関野教育指導課長**：生徒指導報告の中で、問題行動については、2月で見ると、昨年1年間と比較すると、小学校の方は、今年度はおおよそ100件減少している。中学校については、おおよそ20件ほど増えているが、合計すると昨年、一昨年の中では一番低い件数となっており、コロナ禍以後では問題行動が少ない傾向となっている。ただし、小学校の方では、本当に些細なことから大きなトラブルに変わったりとか、中学校のネットトラブルが未だに収まらず、中学校の先生が買い物しているところを撮って、それをアップするというような悪ふざけもあり、本当にネットモラルという点で今後引き続き指導をしていきたい。いじめについては、件数的にはかなり良くなっており、学校の教職員のアンテナが高くなっているので、些細なことを見逃さずに報告が挙がってきている状況と考える。ただ、この年度の引き継ぎが非常に大切であるので、生徒指導部会等で話をして、確実に引き継ぎをすると、見落としをしないというようなことで進めていく。それから最後に不登校については小・中ともにだが、今年度からこの4月当初のスタート、一昨年度はこのスタートがかなりうまくいって不登校数が減っていたので、もう一度ここで仕切り直して、学校や子どもたちとも、心機一転迎えられたらと考えている。一方でその不登校というのは絶対ゼロにはならないとも思っており、多様な学びの場の提供ということも

必要になってくるので、今後不登校相談員等も活用する中で伊東市の対策を立てていきたいと思っている。それから不登校数では、1年間を通じて見られたのは、伊東小学校の不登校の数がちょっと増えているという。旭小と東小、西小の合計した不登校数を去年と今年度で比べると、ちょっと多くなっているというようなことで、もしかすると適用しきれていない子どももいるかもしれないので、その辺りをもう1回見つめ直して教員の方には指導していきたい。最後に、低学年の不登校が非常に増えているというような話を聞いており、全体的な割合でいくとまだ多くなっていないのだが、以前に比べれば確かに数が多くなっている。家庭環境に関係するものが非常に多いわけだが、そのところを見逃さずに対応していきたいと考えている。

**鈴木幼児教育課長**：令和7年度幼稚園新入園児見込数、令和7年度保育所への入所決定児童数についての再報告と、伊東市の子ども子育て支援事業計画について報告する。

(鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明)

まず幼稚園は、2月報告から3人減、減少の理由としては保育園との併願者が幼稚園入園を辞退したということが主な理由になっている。昨年度と比較すると52人の減となっている。次に保育園であるが、先月から2人増の834人であるが、年度の途中から入所決定しているお子さんも含めた数字である。2人増となった理由は、幼稚園の入園の辞退による追加調整を実施したことによる。2点目として、先日、子ども・子育て会議を実施した。この会議の目的は、伊東市の子ども・子育て支援事業計画を策定することであり、この計画は、子ども子育て支援法の中で、すべての自治体が5年間ごとの子育て支援についての計画を定めることとしており、現在、令和6年度までが第2期の計画期間になっている。国においては、この5年間で大きく変わり、令和5年4月1日

にこども基本法が制定施行され、全ての子どもたちが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会、こどもまんなか社会を目指すとなっている。それに伴って令和5年4月1日からこども家庭庁が設立され、今回のこの子ども・子育て支援事業計画もこども基本法の考え方に基づいて進めていくということが第1となっている。第2期計画は2本柱で構成されており、子ども・子育て支援事業計画では、幼稚園、保育園、学童、その他あらゆる子どもサービスについて、必要な量、人数定数を定めていく5年間の計画であり、次世代育成支援行動計画は、育休を取りやすくするために育休を取って、家庭のニーズに合った形、例えば1年育休を取った後に、保育園にきちんと入園できる対応をしていくことを定めたものである。今回、第3期計画の子ども・子育て支援事業計画では、こども基本法、そしてその法律に基づくこども大綱というものに則って、子どもの貧困対策という計画を背景に、いわゆる全ての子どもが幸福な生活を送るということで、誰1人取り残さない計画となる子ども施策を展開していくという中でいうと、今回新たに計画の中にも、子どもの貧困対策というものを位置づけてやっていくというのが、大きな流れとなっており、第3期計画は幼児教育課と子育て支援課がタッグを組んで2課で策定をしていく。年度が変わりましたら、一つは就学前児童の保護者を対象に、学校に上がる前のお子さんをお持ちの家庭全1,900世帯を対象に、専門家が考えた一定数の係数をもとに、今後、5年間にどれくらい保育園を利用するのか、学童を利用するのかを把握するための調査と、もう一つは小学生の児童も全数調査ということで2,400世帯を対象に、就学した児童の学童クラブでの待機児童を出さないための調査をし、ここで積み上がった数字を基に、第3期の計画として策定をしていく。5年前の調査では紙を配布して紙に直接記入していただいたが、今回は郵送で送ってウェブで回答していただくという形を考えている。主な内

容として、子育ての意識、普段の家事分担、市の取り組みの評価、また日常の悩み、さらには、市独自の設問として、育休や職場の両立支援制度を調査する。また、小学生の項目にも伊東市独自の設問を入れており、放課後児童クラブの現在の利用状況ということで、少子化の中でも働きながら学童クラブに預ける世帯がだんだん増えており、そういうニーズ、今後5年間の数字を把握していきたいということで、子どもの貧困対策や子どもの居場所作りということで、それぞれ家庭における子どもの落ち着く居場所、安心できる場所というのがあるのか無いのか、またそういったところを子ども食堂等と連携しながら、施策展開できるような基礎データを収集するために、独自設問として新たに項目を加えたところである。

**山下生涯学習課長**：新図書館について2点報告する。

（山下生涯学習課長から資料に沿って説明）

まず、令和6年2月5日から29日までの25日間実施した伊東市立図書館再設計に向けたアンケート結果である。このアンケートはインターネットによる回答を基本とし、一部紙による回答も可とした。件数は1,180件いただいている。設問は4つで、リサイズするにあたり、残してほしい機能、お住まいの地区、年代、自由記載となっている。残してほしい機能としては、カフェやショップが最多で、続いて学習室、一般書庫、キッズスペース・お話し室、幼児・児童・ティーンズ図書という結果となった。全体ではインターネットによる回答を中心としたことから、40代以下の回答が多く、自由記載では491人の方から、賛成が381件、反対66件、どちらでもないが66件で、約8割の方から賛成の意見を頂いている。今後、いただいた意見をもとに再設計を進めていきたいと考えている。2点目は新図書館再設計に向けた説明会であるが、令和6年度に実施する新図書館の再設計に伴い、4月20日と21日の

2日間3会場で説明会を実施する。会場では、これまでの経過や、リサイクル方針を説明するとともに、今申し上げたアンケートの結果や、説明会でいただいたご意見を可能な限り反映しながらリサイズを進めていくほか、新図書館建設事業への理解を深めていただきたいと考えている。説明会の周知には、昨日の市長定例記者会見でご報告されたことにより伊豆新聞、また広報4月号にも掲載されている。

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：教育指導課に質問であるが、保護者から年間行事予定が新年度に入ってから渡されるのであるが、それができれば、年度内、遅くても離任式とかに出してもらいたいという意見が多くある。年間通しての行事予定、学校行事などを早く知りたいということで、できれば年度内に3学期の終了式とか、そうでなければ離任式にいただけないかという声を多くいただいているので、ご検討いただけたらと思う。ほかに、生涯学習課の図書館のアンケートであるが、10代の回答数がすごく多かったのは嬉しいことである。それぞれ年代によって色々な意見があると思われるが、規模を縮小する中でも、できるだけその子どもたちの思いや希望に沿える図書館になってくれたら良いと思う。

**関野教育指導課長**：以前は、八幡野小学校で2月のPTA総会で保護者に分けたこともあったので、できないこともないと思うが、また校長会などでも話をしてみるが、ただ今年度について言うと、修学旅行のバスなどが色々変わった関係で、まだ日程が決まっていないこともある。その影響で配付が遅くなっても困るが、大きな行事は大体2月ぐらいに決まっている。いつごろ授業参観とか分かると、保護者が仕事のシフトを組むとか、色々なことに影響するようになるので、声掛けをしてみる。

**高橋教育長**：決まったことについて、ホームページなどにすぐ出していけば、

わかることもある。

**関野教育指導課長**：今年度はもうやっている学校は、多分早めに出しているかと。離任式あたりで出している学校はあると思う。まだ4月になってからの学校もあると思われるので、その辺は校長会で、もう今年度は難しいので、来年の2月とか3月に配付できる、こういう風にしていきたい、

**委員**：保護者が一番知りたいのが、授業参観の日程だと思う。修学旅行ももちろんですけど、修学旅行と運動会。運動会と別で大会とかあるのか。何かその辺のところを早めに知りたいと思う。

**委員**：新図書館の再設計に向けた説明会というのは、再設計がある程度決まってきたという感じか。

**山下生涯学習課長**：基本設計は今年の7月の完了を目途にしており、この説明会の後、このアンケートのご意見を踏まえて、再設計をしていきたいと考えており、この説明会のときに、こういう方針で縮小を考えているので、ご意見いただけますかという、意見収集の場と考えている。

**委員**：今の説明会のことだが、チラシを見ると、ある程度方針が決まっていると思われるので、説明を聞く場でもあってこれで決定ではありません、皆様のご意見も聞きますよみたいな、ちょっとその辺りがもうちょっとわかるようなニュアンスが、もうちょっと伝わりやすく修正ができる部分があれば、良いのかなと思う。

**山下生涯学習課長**：チラシは広報にも掲載されていることから修正は困難だが、会議の冒頭に、趣旨を説明しながら、決定事項ではないというか、皆さんの意見を聞いてから、聞きながら再整備を進めるという旨のアナウンスをして会議に入っていくようにする。

**委員**：子ども・子育て会議について、どういうメンバーで具体的に動いておら

れるか、教えていただきたい。

**鈴木幼児教育課長**：伊東市子ども・子育て会議は、伊東市子ども・子育て会議設置要綱というものに則り、会長が教育部長、その他は保育園の父母の会、幼稚園のPTA、学校のPTA、それから幼稚園・保育園、学校校長会等、学校・幼稚園・保育園の保護者や現場の先生方の代表と、それから、学童の連絡協議会の代表や、家庭児童相談員さんとか、子どもに関わる関係者として13人の委員で構成をされている。

**高橋教育長**：その他全般的に、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：今後の日程について確認する。

**事務局**：4月の定例会については、4月25日(木)午後2時30分を予定している。5月の定例会については、5月24日(金)を予定とする。

**高橋教育長**：以上で、伊東市教育委員会3月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 遠山 泰範

書記 藤原 真紀